

主要産地における令和4年産水稻の生育状況等について 第2報 (令和4年6月1日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和4年6月1日)

道府県	生育状況等		(参考)	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)
北海道	(育苗・移植)	【生育状況 (5月15日現在)】 (全道) 苗の生育は平年並で、出芽の良否はやや良。また、一部地域で移植作業が始まった。(北海道農政部 5月20日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並、降水量は、ほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。 (農林水産省 3月16日) (出典資料は以下と同じ)
青森	(移植)	・5月25日現在の田植進捗は、県全体で90%となっており、平年より12ポイント高かった。 ・県全体の田植最盛期は、平年より2日早い5月20日であった。 (青森県 5月26日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「つがるロマン」及び「あきたこまち」の2品種で9割を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まつしぐら」が増加傾向にあり、令和4年産も同様の傾向になるものと考えられる。 (宮城県 5月27日付)
岩手	(生育)	【5月25日現在】 ・県内の田植え盛期 (50%終了) は、5月17日頃で平年並み。 ・育苗前半の4月の気温が高かったことから、地域や施設によっては第1葉鞘長が長くなる傾向がみられたものの、草丈は概ね平年並み、乾物量は東部・北部で平年並み、北上川上流・下流で平年より大きく、総じて充実度の高い苗となっている。 ・田植盛期の5月中旬以降も気温が高く推移したことから、活着は平年並みに良好となっている。 (岩手県 5月26日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「釜河のしずく」が、耐冷性、耐湿性に優れていることから増加傾向となっている。
宮城	(移植)	【5月26日現在】【県全体の平均】 ・5月26日現在の県全体の田植進捗率は98.1%となっている。なお、田植終期は5月22日であった。 (宮城県 5月27日付) (気仙沼・南三陸) 【水稲生育調査ほの生育概況】管内の生育調査ほにおける苗質は良好であり、適正な植付本数 (4～5本/株、19～21株/m ²) を確保している。移植後の活着は順調であり、分けつも確認され始めている。(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月1日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
秋田	(移植)	(鹿角) 田植作業の盛期 (進捗率50%) は、5月21日で平年よりも1日早まった。 5月25日現在の田植作業の進捗率は89.2% (平年88.1%)。(5月27日付) (北秋田) 5月25日現在の作業進捗率は、田植が79.8% (平年81.9%) で、概ね平年並に進んでいる。 終期 (95%到達日、平年値5月28日) には達していない。(5月27日付) (雄勝) 田植作業の盛期は、平年より2日早い、5月23日。(5月27日付) (平鹿) 田植作業の盛期 (進捗率50%) は平年並の5月24日。(5月27日付) (由利) 5月25日現在、田植作業の進捗率は89.8%、直播稲作業の進捗率は100%。(5月27日付) (山本) 5月15日現在の田植作業の進捗率は、60.2% (平年同期は49.4%) となっており、5月19日に盛期 (全体の50%終了) を迎えている。(平年比-1日) (5月23日付) (仙北) 田植作業は5月21日に盛期を迎える見込み。(5月20日付) (秋田県農林政策課)	【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
山形	(生育)	(平坦部「はえぬき」の生育) (5月31日現在) ・草丈は平年よりやや短く、茎数は平年より多く、葉数は平年並み。 (「つや姫」の生育) (5月31日現在) ・適期内に田植が行われた。現在の生育は、草丈は平年よりやや短く、茎数は平年並み、葉数は平年並み。(山形県 5月31日付) (平坦部「雪若丸」の生育) (5月31日現在) ・草丈・茎数は前年並み、葉数は多い状況。(山形県 5月31日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。
福島	(育苗・移植)	【5月10日現在】 ・移植栽培の播種作業は、始期 (5%終了) が4月8日 (平年差-1日)、盛期 (50%終了) が4月15日 (平年差-1日)、終期 (95%終了) が4月24日 (平年差-1日) となった。苗の生育は概ね順調。4月下旬より田植が始まっている。 (福島県 5月19日付)	【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は、平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は平年並の見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぎ」が増加していたが、飼料米への転換が増加していることから比率はやや低下している。
茨城			【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、多様な多収米への作付け移行が進んでいる。

<p>栃 木</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「とちぎの星」が増加傾向にある。</p>
<p>千 葉</p>	<p>【5月20日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 育苗期間中の3月下旬から4月下旬にかけては、気温がやや高く、苗丈はやや長めであったものの順調に生育。植付け後の4月下旬から5月中旬にかけ、低温・寡照条件で推移した。また、降水量が多かったため、深水となっていたほ場が見られた。 その結果、全体的に草丈は長く、莖数が少なくなっている。 なお、一部のほ場では、スクミリンゴガイの食害があり、藻類やホトライ、還元障害の発生が見られる。 <p><葉齢の進み(平年比)> 「ふさおとめ(4月20日種)」やや遅、「ふさこがね4月20日種」並、「コシヒカリ(4月20日種)」並、「コシヒカリ(5月1日種)」並、「粒すけ(4月20日種)」並。</p> <p>(千葉県 5月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。令和2年産から新品種「粒すけ」の本格栽培が開始</p>
<p>新 潟</p>	<p>【5月30日現在の県内全域の生育概況】 「コシヒカリ」指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「並」、莖数は「多い」、葉数の進みは「並」。 「新乃助」指標値に比べ、草丈は「短い」、莖数は「並」、葉数の進みは「やや遅い」状況。 「こしいぶき」指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「並」、莖数は「少ない」、葉数の進みは「並」 (新潟県 5月31日付)</p> <p>【5月30日現在】(コシヒカリ) (岩 船)5月第2半より高温で推移したため早稲えほ場の莖数が急増している。5月中旬以降田植えほ場では初期分けつが見え始めた。 (村上農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(十日町)管内の田植え盛期は、前年より3日遅い5月25日頃。植え込みは少なく、活着は「やや良」となっている。 5月中旬に移植されたほ場では分けつが発生し初期生育は順調。(十日町農業普及指導センターほか 5月30日付)</p> <p>(糸魚川)5月上旬植え込みのほ場は、移植後の好天により生育は順調に進んでいる。また、ワキや表層剥離の影響も少なく、分けつは順調に増加している。(糸魚川農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(佐 渡)生育は目標値より「やや早く」、莖数も多くなっている。ただし一部では、植え込み等により生育が停滞しているほ場もある。 (佐渡農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>【5月30日現在】 (新 潟) 各品種の莖数は指標値比で、「コシヒカリ」多、「こしいぶき」多、「新之助」少。今後、気温が高い傾向が続くことから、莖数の急激な増加が見込まれる。(新潟県農業普及指導センター 5月30日付)</p> <p>(巻)「コシヒカリ」「こしいぶき」生育は指標値より進んでおり、莖数はかなり多い。(巻県農業普及指導センター 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助(晩生種)」の作付拡大を推奨している。</p>
<p>富 山</p>	<p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温寡照でも品質が安定している「てんこもり」及び「てんたかく」県のトップブランドに位置づけている「富富富」が増加傾向にある。</p>
<p>石 川</p>	<p>【5月27日調査】【本田の生育】</p> <p>(草丈) 「コシヒカリ」平年比73～122% (県平均102%：加賀：101%、能登：103%)と平年並で、前年よりやや短い。 「ゆめみづほ」平年比90～111% (県平均：100%、加賀：98%、能登：102%)と平年並で、前年と比べて短い。 「ひやくまん殺」近年比74～117% (県平均：92%、加賀：95%、能登86%)と近年と比べやや短く、前年と比べて短い。</p> <p>(莖数) ・ほ場間による差が大きい傾向。 ・極端に莖数が少ないほ場が一部で見られ、移植後の植え込みにより活着および初期分けつの発生が遅れている。 「コシヒカリ」平年比45～191% (県平均：85%、加賀：89%、能登79%)と平年と比べやや少なく、前年と比べやや多い。 「ゆめみづほ」平年比40～160% (県平均：85%、加賀：86%、能登：83%)と平年と比べやや少なく、前年並。 「ひやくまん殺」近年比70～116% (県平均：93%、加賀：91%、能登：96%)と近年及び前年並みとなっている。</p> <p>(石川県農林総合研究センター 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル新品種の「ひやくまん殺」が増加傾向にある。</p>
<p>福 井</p>	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月末から5月初めの低温で、移植ハナエチゼンでは活着が不良となり、直播では出芽・苗立ちが遅れた。 ハナエチゼンの莖数が、前年並に少なく推移している。 <p>(福井県 5月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお、新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
<p>長 野</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。</p>
<p>滋 賀</p>		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温寡照性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</p>

兵 庫		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。
岡 山		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 中国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「にこまる」への品種変更が定着してきている。
高 知	<p>【早期稲】</p> <p>(育苗・移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・極早生品種の移植始めは県東部、中央部で3月下旬頃であった。早生品種の移植始めは県中央部以西で3月下旬、東部で4月上旬、移植盛期は県東部、西部、中央部で4月上旬、中西部で4月中旬で、平年並であった。 ・移植時期が早かったほ場では低温の影響による葉先枯れなどの植え傷みが見られた。 ・育苗期間中の病害虫の発生は、県中央部で苗木枯病、苗いもち、籾枯細菌病が確認されている。 <p>(高知県病害虫防除所 5月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。
福 岡	<p>【5月17日現在】</p> <p>(育苗・移植)</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了。(最盛期は4月下旬) ・平年よりやや高い気温で経過しており、活着は順調。 <p>【普通水稲】(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、6月上旬植え用の播種及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月上旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。「実りつくし」の田植えは6月中下旬の見込み。 <p>(福岡県農業総合試験場 5月17日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「実りつくし」の拡大を推進している。
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州北部地方の3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」及び「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「くまさんの隣き」はリーディング品種として取扱いが年々拡大している。
宮 崎	<p>【作物の生育状況 (5月中旬)】</p> <p>(生育) 早期水稲は分けつ期 (宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 5月28日～6月27日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 6月～8月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。 降水量はほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収量水準の高い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和4年6月1日 15時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道農政部 5月20日)、
5月25日現在田植進捗状況(青森県「攻めの農林水産業」推進本部 5月26日)、
農作物技術情報第3号水稲(岩手県 5月26日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月1日閲覧)、
令和4年産水稲の田植状況について(5月26日現在)(宮城県みやぎ米推進課生産販売班 5月27日)、
令和4年産気仙沼・南三陸稲作情報第3号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月1日)、
米づくり技術情報№3(山形県県産ブランド推進課 5月31日)、
雪若丸技術情報№2(山形県県産ブランド推進課 5月31日)、
主要な農作物の生育情報令和4年度第2号(福島県農林水産部 5月19日)、
水稲の生育と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 5月24日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第1号)(新潟県 5月31日)、
R4岩船米生育速報(5月30日現在)(村上農業普及指導センター 5月30日)、
令和4年度糸魚川売れる米づくりコンヒカリ生育情報№1(糸魚川農業改良普及指導センター 5月30日)、
水稲生育速報№1(巻農業普及指導センター 5月30日)、
令和4年度稲作生育速報№1(佐渡農業普及指導センター 5月30日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センター「ほか」 5月30日)、
稲作速報№1(新潟農業普及指導センター 5月30日)、
令和4年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月27日)、
病害虫発生予察情報について(高知県病害虫防除所 5月10日)、
福岡県の主な農産物の生産状況(専技情報より抜粋)(福岡県農林業総合試験場 5月17日現在)、
令和4年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(5月26日札幌管区气象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(5月26日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(5月26日気象庁)
北陸地方こう1か月の天候の見通し(5月26日新潟地方气象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(5月26日大阪管区气象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(5月26日広島地方气象台)
四国地方こう1か月の天候の見通し(5月26日高松地方气象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(5月26日福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(5月26日鹿児島地方气象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(5月24日札幌管区气象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(5月24日仙台管区气象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(5月24日気象庁)
北陸地方こう3か月の天候の見通し(5月24日新潟地方气象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(5月24日大阪管区气象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日広島地方气象台)
四国地方こう3か月の天候の見通し(5月24日高松地方气象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(5月24日福岡管区气象台)、九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(5月24日鹿児島地方气象台)、

令和4年産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月16日)